

あるじのいなくなった家

D A Bm G D A Bm G

これまで大切な人の暮らしがあったのに

(677)
Bb

その日を過ぎた夜から 明かりがなくなった

D A C G
近頃は病院でそくなる人が多、中で

(677)
Bb

最後までその家守り一人旅立った

Bm A Em Bm
それほど苦しんでいた様子もなくて

D G A D
まるでロソクの火が消えてしまうように

D A Bm A
愛してたパートナーに

G Bm Em/A D
今頃やっと会えたおろうか

B A Bm A
親しかった多くの人たち

G Bm Em/A D
今頃やっと会えたおろうか

全く元気でそしな気配なくて

覚悟もできな、まに突然の知らせ

自分もたまたま退院したばかりの時に

最後まで見届けてくれて一人旅立った

その朝会った人にも丁寧な対応

誰がこんなことを想像したおろうか

愛してたパートナーに

今頃やっと会えたおろうか

親しかった多くの人たち

今頃やっと会えたおろうか

Date. '21. 4. 22

トンネルの向こう

D Bm G A

あれは確か5年生の頃だった

幼い道所の友と歩いていた

初夏の眩しい光が見えていた

できたばかりのトンネルの向こう

あかり^D 照明もついでなく 舗装も終わってない。

しばらくそへま子工事もしてない。

暑い夏の日を心身ともに涼しく

ふざけあって怪談しながら

後ろ見ながら 足早に 暗い中をいたむた^A 歩く僕ら以外の見えな^{Bm}い誰か、後ろからおっと追いかけてらる^Aような音がするかなり前の事だが^{Bm}と鮮明にこんなところ^Aは もう一人で歩ける

しばらく歩いてトンネルの向こうまで

大きくなってきたかまぼこの形

切り取った空と緑の風景の中

見えてきた様子は電柱なのか

天井に見える白いシミが気になる

傍に落ちてる袋も気になる

暑い夏の日を心身ともに涼しく

たぐし歩いて疲れたはずなのに

やっと近づく向こうの風景 止り着いたら普通の景色

僕ら以外の見えな^{Bm}い誰か、後ろから

いつの間にか遠ざかった様な気がする

かなり前の事だが^{Bm}と鮮明に

こんなところは もう一人で歩ける

今すぐに

Am G Am G Am G F G Am

Am G Am Am G Am
あと少しの命 言われたら今すぐにF Dm C Am G Am
しなけれはならないこと したいこと何だろうAm G Am Am G Am
人生の残り時間 意識することだっつたF Dm C Am G Am
本当にほしいもの 考えでも見つからないC Am
でも守りたい 家族の幸せDm C
残される 親族の幸せAm F G C
そして関わる 全ての人にDm C
メッセージも残したいF Dm C Am
そしてふつに考えるとG G7 C Am F Dm
今すぐにしなけれはならないことはC Am F G Am G7
人を笑顔にするためのこと

人は誰でも 必ず死ぬのに

死なないと思っで 生きてるものだろう

本当に亡くなったら 周りの人はそれこそ

仕方ないと思うもの 自分の意識もなくなる

そんなところで 無理に今すぐに

しなけれはならないこと

そしてしたいこと 考えすぎても

あまり意味のないことかも

そんなふうに考えると

今すぐにしなけれはならないことは

目の前の悔いがないようにすること

あと少しの命 言われても慌てずに

人は誰でも いつかは死んでゆく

帰りに来た駅で

G D Em D C Em D G

電車降りたら 夕方と時過ぎなのに

薄い青空 筋雲を抱えて

今しがた止んだ雨

ここからの時間 過ぎるのが惜しい

駅のホーム水たまりが白く光る

反対にいた電車に照り返りよ

駅を降りて西側の広場に出た

眩しい西の太陽が作るくっきり長い影

今日はいつもより早く帰り着いたのだから

駅前スーパーで値引きのスイーツを...

ぬれた道日に照りさし

地上に長く伸びるさながら天の川

広場のベンチ早くも乾いていて

子犬を休ませる親子が座っている

その傍に立つ大きな楠の木

行き交う人 見下ろしながらその葉を揺らす

Capo. 0

Capo. 3 1-2il An

cm

逃げてゆくのか

~~Am G F G7 An~~
~~Dm C Dd C Dm~~

~~Dm Am BbF G FC AE7~~

ここには私のいるべき場所はない

~~Dm Am BbF G FC AE7~~

今さら頑張りを続けたところで

~~Gm Dm~~

~~F Am~~

少し良くなるなら 居づらさあるだけで

~~G~~

~~Dm An~~

開ける人ともうよくわからない

~~Dm Am~~

~~BbF~~

~~G~~

~~F AE7~~

抱えきれぬ悩みから解放されたくて

~~Dm Am~~

~~BbF~~

~~G~~

~~F AE7~~

その先のことが見えなくなったとき

~~Gm Dm~~

~~F C~~

休みたい気持ち強くなった頃から

~~G~~

~~Dm An~~

~~E7~~

最後の手段のひとつとして

~~Dm Am~~

~~BbF~~

* 逃げてゆくのか 悪いことではない

~~Gm Dm~~

~~F C~~

~~AE7~~

「ここからいらない... 思い込んでいるだけで」

~~Dm Am~~

~~BbF~~

自分で縛った責任感だけで

~~Gm Dm~~

~~F C~~

~~AE7~~

~~Dm Am~~

周りにはそれほど思っていないにちがいない

★★

ホープ Dm

今あるイザコザ 解決するよりも

全てを投げ出して任せるだけでいい...

いなくなった後の 気持ずさずさなんて

想像する意味あるのか

「消えてしまいたい」 思ったときは

口にもできない 気が滅入るだけで

そのうち癒れて 動けなくなるまで

逃げたその先を 考えるほうがいいかも

(* ~ **)

新緑の銀杏並木

G D C G G D C G

^{Em}
あるきかけで このところは^D
バスで何度も通った道^{Em}
元気がなくて 運転でして^D ^C ^{Em}
初めて走る自家用車の窓から見える^D ^{Em}
まっすぐな 並木道^{Em} ^D
こんなところにいるはずがないと 思っていた市街地の^{Em} ^D
道の両脇迫ってくる 高い高さの緑の壁が^C ^{Em} ^D ^{Em}
高すぎて見える 新緑の並木道^G ^D ^C ^G
今まで一度も気づかなく^G ^D ^C ^G
いつものバスからの視線では^C ^G ^D ^G ^C ^G ^D ^G
* 新緑の銀杏明るくお昼過ぎの光に輝く^C ^G ^D ^G
高い緑の明るさか^C ^G ^D ^G
いつもの喜びと与えてくれる **

右には広い市場があって

食堂とかがある様に聞く

左は長く伸びる公園

駐車場もなく一時停止してよいだけに

歩いてみたい 菅生緑地

ホームセンターを過ぎたあたりで 直角のカーブ曲った途端

センターラインの壁がなくなり 少しホッとして

視線を上げた瞬間に見える いままでの並木道

何でもないバス通り

元気がなかったごほうびに

(** ~ ** (リカエシ)

夏つけき

Em D Em C D Em

^{Em} 夏の初めのある日のことだった

^{Em} 一夕に満ちた思い出 ^D 儚い記憶 ^G

^G 気心知れた友達に助けられた

^G それあなたと三人 ^{Am} 語りあいました ^D

^{Em} 緊死していた僕を ^D 友達が ^C 和らげるように ^{B7}

^{Em} 気の利いた話をして ^D 盛り上げてくれた ^G

★ ^{Em} 一度きりなのに ^D ^{Em}

^C ひとり前なのに ^D ^{Em}

^{Em} 懐きとれたこと ^D ^{Em}

^C 憶えていよう ^D ^{Em} ★★

1-2il

まだお酒も飲めなかった ウブだった僕は

ソフトドリンクだけでヤキ=気取って

冗談すら言えずに ただ生真面目に

相植するだけでときどき間抜けた発言

それでもあの時のあなたの笑顔は明るく

けて作ったものでなく僕に向けてくれた

(★ ~ ★★ くりかえし)

夏つけき 咲く直 帰りの直で

この手を別れる 辛さを感じて